

## 第 130 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和 5 年 9 月 21 日 (木) 午後 1 時 30 分
- 2 場 所 湯河原町商工会 3 階会議室 (湯河原町土肥 1-7-1)
- 3 委員総数 10 名、出席委員数 6 名、欠席委員数 4 名

出席委員：さいとう真由美、深田真弓、遠藤浩一、石田浩二 (代理:久能木孝一)、  
山田碩斗、舘石晃一

欠席委員：古株恭子、宮下睦史、本田智大、高橋祐介

放送局側出席者：山崎浩一、金井周平

- 4 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した
- 5 議事 番組へのご意見

### ◆対象番組：特別番組

『ラジオ防災スペシャル ～正しい情報で適切な行動を 関東大震災から 100 年～』

・令和 5 年 8 月 27 日 (日) 12:00 -13:00 生放送

### ◆番組概要：

SBS ラジオ (静岡放送) をキーステーションに静岡県内コミュニティ FM12 局ネット放送。災害時に起こる「デマ」に惑わされないためにはどうしたらいいのか、また、関東大震災で伊豆半島東海岸にも大津波が襲った際、伊東市の宇佐美地区では 1 人も死者が出なかった理由も探り津波への警戒を呼び掛けていきます。

【出演】：中森広道 (日本大学文理学部社会学科教授)、影島亜美 (SBS アナウンサー)

### ○委員からの意見

・他社が制作した番組は審議会では初めてですか？

⇒局からの回答：

以前もありましたが少ないです。

- ・隣の伊東市宇佐美では 100 年前の小学生の作文集があるということ、それを活かして小学校でも防災意識を高める取り組みをしていることを始めて知った。
- ・他市の取り組みを知ることができて、よりリスナーの防災意識が高まると思う。
- ・自分の子供にも言い聞かせておくことが大事だと思った。
- ・普段、災害をどこか他人事のように思ったり、防災意識がおろそかになりがちなので、このような内容を定期的に放送すると良いと思う。
- ・今年で関東大震災から 100 年ということで企画として良かった。
- ・宇佐美小学校に 100 年前の作文集については、紙質とか保存状態とかすごくリアルに伝わって来た。
- ・自分事が大事ということが良く伝わった。
- ・信ぴょう性のある情報を、自己責任の中で取捨選択する事の重要性を訴えているのが良かった。
- ・観光地なのでこのような安心安全に関する番組を継続的に放送してほしい。
- ・ラジオが発信源の一つであるという事を PR して行って欲しい。
- ・自然災害は恐ろしいが、一番恐ろしいのは思い込みで行動する人間だと感じた。
- ・正しい情報を集めること精査することが大切だということモデルケースで紹介しているのがすごく身近に感じてよかった。

- ・自分も災害等の情報を SNS で情報を得ることが多いので、デマ発信のところでは、とても興味深く聞いた。
  - ・市町村の方も関心を持つ内容だと思う。
  - ・実際に災害が起きるとみんなパニックになって、どうしたらいいかわからなくなる。いざという時は家族でどうやって連絡を取り合うか決めておくなど、一年に一回でも防災について考える機会にしてほしい。
  - ・デマの情報については、災害時は信頼度のおける情報源はどこかを探す。まず公共放送をつけて全体の流れを把握してローカル放送に行く。あと市町のメルマガ。実際はその時の電波状況等で、どのように情報が入ってくるかわからないが、そういった公のところで出してる情報をまず見て、最終的には自分で自分の身を守ることが大前提だと思う。
  - ・湯河原町も熱海市の人も宿泊施設が多く、湯河原でも観光協会から各旅館とか施設に情報流すが、今だファックスです。百件ぐらいあるので一件目と最後のところでは結構タイムラグがあるので、例えば JR が止まったといった情報を FAX を流している間に復旧したりすることもあったりする。メールか何かで一斉に送れる方法を取れた方が良いのかなと思っているがなかなか進んでいないのが現状。情報発信する側も考える必要がある。
  - ・津波避難のところでは、避難の場所をその時代に合わせて変えているが、変わったことを知らない人もいるかも知れないので、情報発信や周知が重要と感じた。
  - ・熱海も湯河原も観光地なので、観光で訪れる人たちは避難場所のことなど何も知らないと思うので、自分を守ることも大切だが、普段から防災意識があれば、観光客などにも高台に逃げた方が良く伝えることが出来ると思うので、普段から率先して防災意識を高めたいと思う。
  - ・湯河原町商工会では災害等で JR が止まった時は、電車で帰れなくなった観光客の方、町外の方の待機場所として、JR 湯河原駅が窓口となり状況に応じて、ここ商工会館の 3 階の部屋を解放する場合がある。
  - ・今は SNS で誰でも情報発信できる時代だが、公共放送 FM ラジオでは信頼できる確かな情報や、地域の細かな情報も得ることができるということの周知にもつながって大変良い番組だと思った。
  - ・今回は特別番組だったが、ミニ番組みたいな形の通常放送で、防災についてを伝えていく番組があっても良いと思った。Ciao!防災研究所という番組はどうですか？
- ⇒局からの回答:

この番組も一般的な防災に関する内容の 30 分番組で毎週放送しています。

- ・天災は忘れた頃にやって来ると言うので、なかなか自分ごとと思えないことがある。あの百年前の震災時のリアルな体験を書いた作文などを聞くことで再認識することが出来て大変良い番組と思った。
- ・アナウンサーの声、間合いも良く聞きやすかった。

## 6 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、  
 今回は、令和 5 年 11 月 16 日（木）に熱海市内で開催することになった。